

川崎縦貫道路等の早期整備について



(右より)寺尾副会長・西岡会頭(会長)・西銘国土交通大臣政務官・田中衆議院議員・小島副会長・山際衆議院議員原秘書

平成21年7月15日

国土交通大臣
金子 一義 殿

川崎商工会議所 会頭 西岡 浩史
川崎市の幹線道路の整備を促進する会
会長 西岡 浩史

川崎縦貫道路等の早期整備について(要望)

平素は、「川崎商工会議所」「川崎市の幹線道路の整備を促進する会」の活動につきまして、格別のご理解を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、川崎市は東京と横浜の中心に位置すると共に、国際化される羽田空港に隣接し、産業界では非常に高いポテンシャルに期待を寄せております。

しかし、歴史的に南北に細長い市域を縦貫方向に結ぶ幹線道路の未整備のため、川崎市のみならず首都圏の拠点都市への効果にも影を落としていることが危惧されるところであり、川崎市臨海部から市域を縦貫し首都圏環状道路ネットワークの形成は焦眉の急であります。

国土交通省では先般「新たな中期計画」を取りまとめられ、その具体的な施策の中で第一に基幹ネットワークの整備を掲げられております。とりわけ、平成19年12月25日には国幹会議において東京外かく環状道路が基本計画として承認され、その後、去る4月27日には整備計画区間に格上げされたところです。

もとより、基幹道路ネットワークの整備は多様な効果を持ち、正に今日の首都圏の都市課題、産業課題に対処する最も有効な手段と思慮いたすところです。

つきましては、必要十分な道路財源を確保し、首都圏の広域道路ネットワークの一翼を担い、川崎市の発展並びに首都圏との連携にとって不可欠な次の3点について、格別のご高配を賜わりたくお願い申し上げます。

1. 東京外かく環状道路の東名以南ルートと川崎縦貫道路の早期一本化整備。
2. 川崎縦貫道路との道路機能分担を視野に入れた、川崎都心部の慢性的な渋滞を改善するために、一般国道409号(国道15号～国道1号)の地下化先行整備。
3. 一般国道357号東京港トンネル一般部の延伸として、羽田空港～東扇島間の早期整備。

以 上